
高輝度電源開発G 2008/9/1

議題

- ★500kV電子源開発状況
- ★JAEA 250kV銃報告
- ★Nagoya 200kV銃報告
- ★広島大学報告
- ★その他

CERL電子銃開発

★9/1

★セラミックフランジ径（取り合い）、SF6タンク形状
決定=> 発注へ

★9末まで

★セラミック径決定=>発注へ、
★500kV銃チャンバーデザイン

カソードテスト装置

- ★広島大学 (0号機) のテスト装置では極高真空を狙うのは困難
- ★新たに次の目的のためにテスト装置を構築
 - ★極高真空下でのカソードの系統的研究
 - ★CERLそしてERL本機の銃の真空系の実証

カソードテスト装置

- ★ CP処理Tiチャンバー
- ★ 排気系は Cryopump + NEG + TMP
- ★ Cryopump をIPに置き換えることで、“Conventional”な構成にも対応。
- ★ 2008年度：メインチャンバー、排気系
- ★ 2009年度：ロードロックチャンバー、活性化チャンバー、輸送系
- ★ 2010年度：カソード試験

セラミックガス放出測定

★セラミックの放出ガス測定

- 1.昇温脱離による測定(ULVACつくば研究所、単独のサンプルで可能)
 - 2.500kVセラミック管でビルドアップ法による測定。
 - 3.流路切替法による精密測定:60x60mmx100枚程度必要(1E-10Pa.m/s未満の精度)
- ★測定値が測定限界を上回り、ガス放出速度が測定されるまで継続。

表面観察

★STM:プローブの条件出し中

★PEEM

★測定部立ち上げ:9月

★準備室の整備:Csディスペンサー、酸素導入系

★ロードロックの新設

★真空排気の新設:NEG追加、IP追加等(以上11月まで)

PEEM現状



